

九州工業大学 学生員 ○ 浅田 毅
九州機械振興会 池田 馨
九州工業大学 正会員 佐々木昭士

1. まえがき

北九州工業地帯は過去の恵まれた立地条件を失い、出荷額の全国比率も15%を割るような状態であり、工業再開発が急務とされているが、そのためには(1)加工度の高い都市型工業を育成する。(2)工場の再配置を行って職住の分離をはかり、生活環境を保全し、企業活動とスムーズに行なえるようにする。(3)交通輸送網を整備するなどが挙げられている。そこで、工業再開発とすることにあたり、北九州工業地帯の現況と分析し、現在の企業を育成、発展させていく方法を考察した。特に、工業基盤とみなされる機械工業について考察した。

2. 北九州工業地帯の概況

2.1. 工業生産指数の推移⁽¹⁾

昭和48年から49年にかけておこったオイルショックにより、工業生産指数が全国的に減少しているが、全国は1~2ヶ月で立ち直っているが、北九州市は以前低迷と続いている。これは北九州市が素材産業が中心のためと他の工業地帯に比較して生産制のあった工場が存在するため、景気の回復が遅れている。

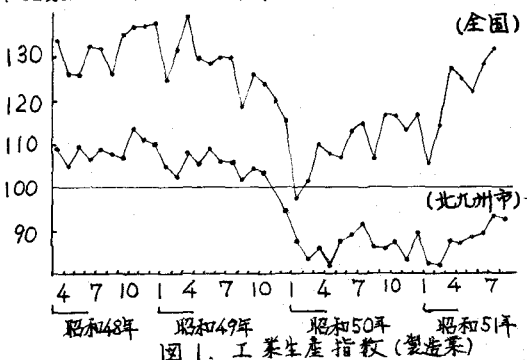


図1. 工業生産指数(製造業)

2.2. 製造業の構成⁽²⁾

全国に比べると、加工度の高い機械、繊維工業部門が少なく、鉄鋼、化学工業部門が多い。特に精密機械部門は全国平均と大きく下回っている。

表1. 製造業の構成

工業	事業所率(%)	従業員率(%)	工業	事業所率(%)	従業員率(%)
食料	22.13	7.80	なめし	0.19	0.02
繊維	0.72	0.43	窯業	4.82	6.70
衣服	3.11	0.86	鉄鋼	3.19	29.47
木材	5.54	2.98	非鉄	0.95	2.19
家具	7.36	1.21	金属	12.87	6.66
パルプ	2.66	1.88	一般機械	12.49	14.64
出版	8.01	5.35	電気機械	3.61	6.64
化学	1.94	7.93	輸送機械	2.35	2.72
石油	0.57	0.83	精密機械	0.27	0.07
ゴム	0.61	0.23	その他	6.64	1.38

2.3. 従業員密度と夜間人口密度⁽³⁾⁽⁵⁾

相関係数は製造業全般、一般機械工業とも、低い値を示し、相関性に乏しい。一般機械工業は、従業員密度が低く、夜間人口密度が高い部分まで広範囲に点状している。機械工業全般の1事業所当りの従業員数は、59人である。

工業	相関係数
製造業	0.167
一般機械	0.166

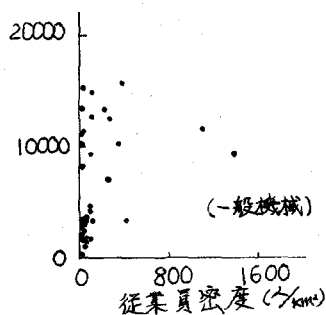
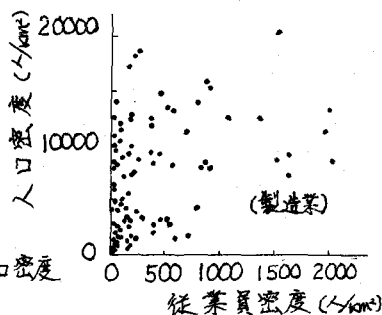


図2. 従業員密度と夜間人口密度

2.4. 工場敷地面積⁽⁴⁾

昭和49年度の北九州市の工場敷地面積は25.95km²であるが、八幡西区と戸畑区で18.05km²で全体の70%と占めている。八幡西区、戸畑区の工場敷地面積の大部分を鉄鋼業、窯業、金属などの大企業が占めている。

表2. 工場敷地面積

	敷地面積(km ²)			全面積(km ²)			敷地面積/全面積×100(%)		
昭和年度	46	47	49	46	47	49	46	47	49
門司区	0.94	1.06	1.27	68.53	68.53	68.85	1.4	1.5	1.8
小倉北区			2.49		211.26	39.29			6.3
小倉南区	2.47	2.96	0.91			168.63	1.2	1.4	0.5
若松区	1.97	2.44	3.22	55.10	55.10	57.62	3.6	4.4	5.6
八幡東区			4.53			26.52			12.4
八幡西区	7.76	7.81	3.26	111.86	111.86	84.62	6.9	7.0	3.9
戸畑区	9.93	9.56	10.26	14.13	14.13	18.25	70.3	67.7	56.2
北九州市	23.06	23.83	25.95	465.63	465.63	473.82	5.0	5.1	5.5

2.5. 機械工業の従業員規模別事業所と従業員百分率⁽⁵⁾⁽⁵⁾

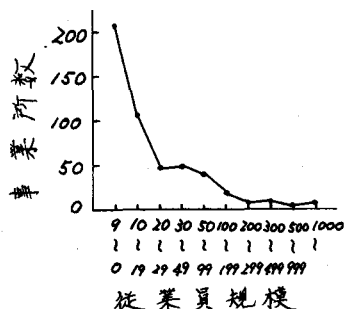


図3. 従業員規模別事業所数

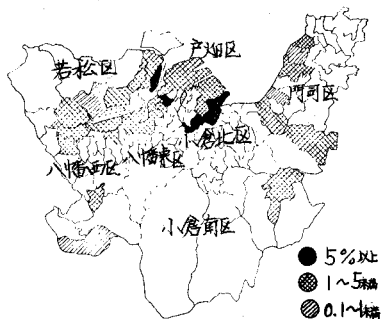


図4. 従業員百分率(国勢調査ゾーン)

従業員規模別事業では、29人以下の企業が73%と占めており、夜間人口密度の高い、茂生、到津ゾーンで高い値をもっている。現金給与が製造業全般と比較して82.8%と低く、原材料使用額が50%と低いのは当然であるが、製造品出荷額、55.49%、付加価値額が73.38%と低く、

2.6. 製造業と機械工業の比較⁽²⁾

表3. 製造業と機械工業の比較(万円)

	現金給与	原材料使用額	製造品出荷額	付加価値額
機械製造業	4946687	13550692	23167224	9277377
従業員1人当り	171.006	468.444	800.889	320.717
製造業	24821211	112604830	173474226	52530894
従業員1人当り	206.504	936.836	1443.253	437.040
製造業/機械製造業	82.81*	50.00*	65.49*	73.38*

* 従業員1人当りの割合(パーセント)

生産制、採算性の上に多くの問題を持っておりとみられる。密集地区に混雑するこれらの中小企業は、北九州市の工業基盤として工場用地計画を始めとする早急な助成策が望まれている。

謝辞: 本研究にあたり、渡辺義則講師を始め同研究の方々に御支援を頂いたことに對し、深く感謝の意を表します。

参考文献

- (1) 北九州市 : 統計北九州(昭49~51)
- (2) 北九州市 : 北九州市統計年鑑(昭47,50)
- (3) 北九州市 : 国勢調査速報(昭50)
- 総理府 : 国勢調査報告(昭45)
- 共同出版 : 立地公営ハンドブック(昭50)
- 北九州市 : レイアウト研究レポート(昭51)
- 北九州市 : 工場レポート研究レポート(昭50)
- (5) 北九州市 : 北九州市の事業所(昭51)
- (4) 北九州市 : 工業統計調査報告(昭47~50)
- 九州経済調査 : 九州経済白書(昭47~50)
- 中小企業庁 : 中小企業白書(昭50)
- 総理府 : 国勢統計境界図